

食品用ダイヤスプレー「分析試験成績書」

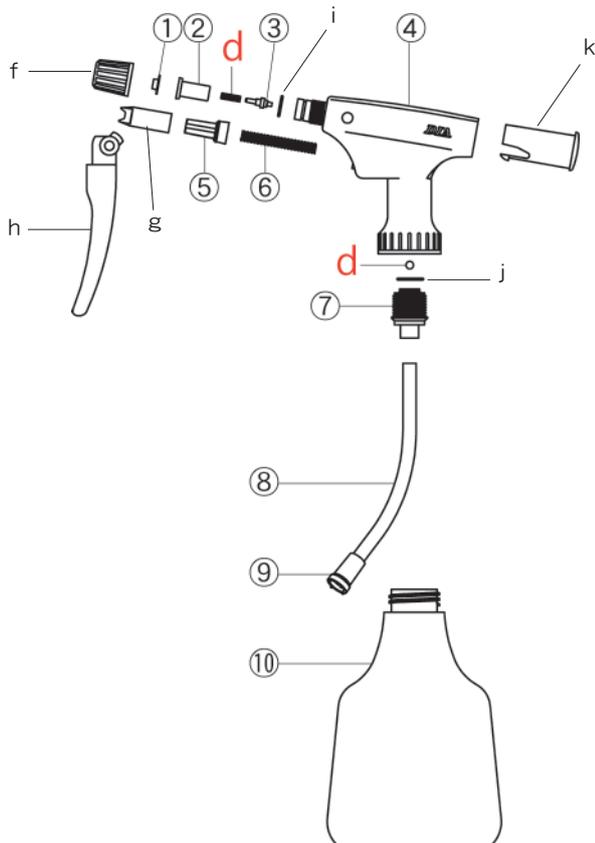
2021.1.21. 株式会社フルブラ

分析試験成績書 検体名 (検体名は当社社内使用部品名になります。)	該当部品番号
No.511 No.551 ノズル	①
No.515 ムシ	②
No.500 ノズル弁	③ ※同材質 b
No.500 本体 アイボリー	④
No.500 ピストン	⑤
No.500 ピストンスプリング	⑥ ※同材質 d
No.500 ボール受け	⑦
No.500 吸い上げパイプ	⑧
No.500 フィルター	⑨ ※同材質 e
No.500 ビン	⑩
No.550 本体 アイボリー	⑪
No.550 ビン	⑫

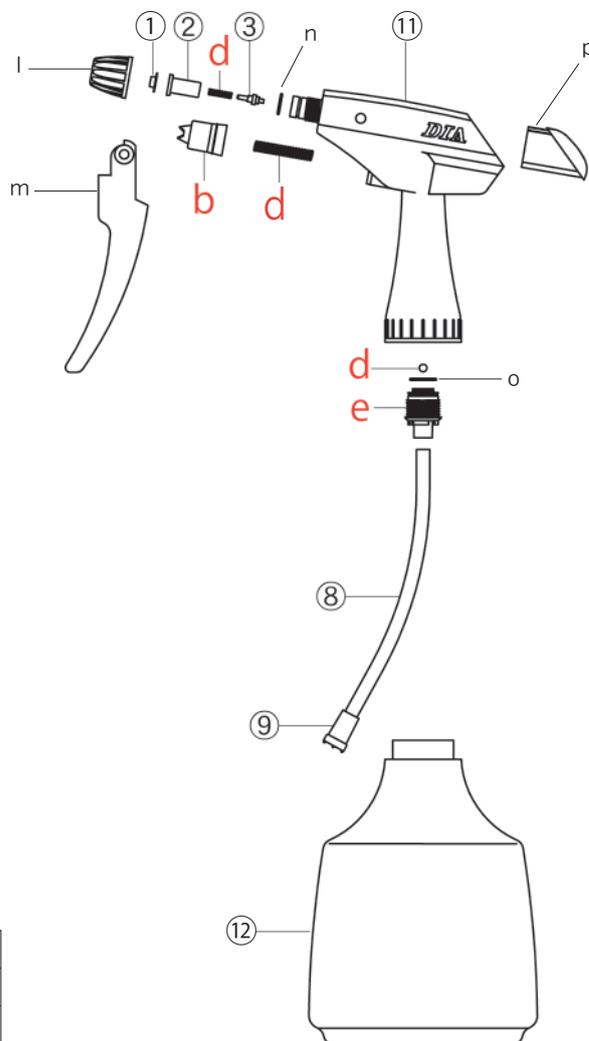
※食品衛生法第 18 条に基づく「器具又は、容器包装の規格基準」に従い液に接触する部品のみ分析試験を行っています。

■ 該当部品 分解図

No.511 分解図



No.551 分解図



その他部品

ポリプロピレン	f g k l p
ガラス繊維強化ポリプロピレン	h m
ゴムパッキング NBR	i j n o

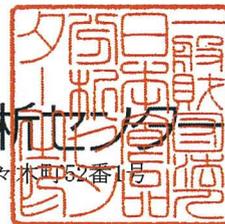
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No.511 No.551 ノズル

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木4-52番1号



2018年(平成30年)12月12日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験	1
鉛	適(検出せず)	0.1 %		原子吸光度法
アンチモン	適(検出せず)	0.1 %		原子吸光度法

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のA器具若しくは容器包装又はこれらの原材料一般の規格の3。

以上

依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No.515 ムシ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-62番1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリエチレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品, 添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分: 使用温度, 100℃以下

以上

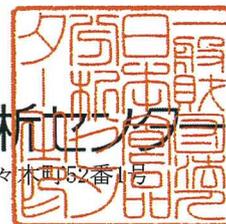
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500 ノズル弁

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木四丁目5番1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリエチレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(18 µg/ml)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品, 添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分: 使用温度, 100℃以下

以上

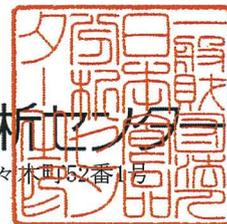
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500本体 アイボリー

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-52番1号



2018年(平成30年)12月12日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリプロピレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100℃以下

以上

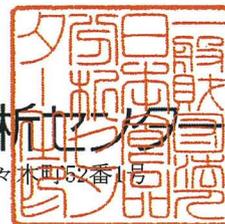
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500 ピストン

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-6-2 1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリエチレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(7 µg/ml)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100℃以下

以上

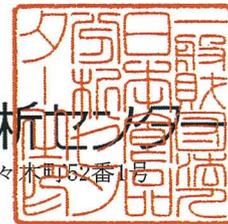
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500 ピストンスプリング

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-52番1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験	1
鉛	適(検出せず)	0.1 %		原子吸光光度法
アンチモン	適(検出せず)	0.1 %		原子吸光光度法

注1. 食品, 添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のA器具若しくは容器包装又はこれらの原材料一般の規格の3。

以上

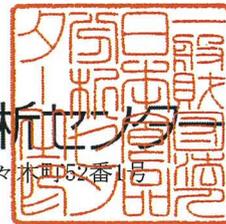
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500 ボール受け

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-52番1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリプロピレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(6 µg/ml)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100℃以下

以 上

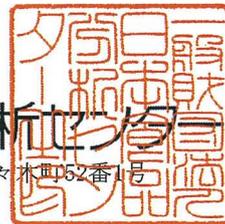
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500 吸い上げパイプ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-62番1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリエチレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品, 添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分: 使用温度, 100℃以下

以上

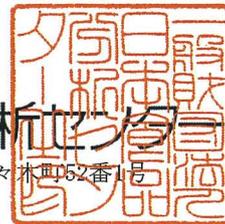
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500 フィルター

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木四丁目5番1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリエチレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100°C以下

以上

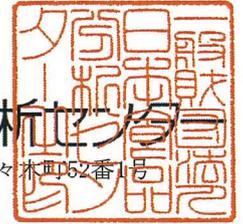
依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 500 ペン

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-52番1号



2018年(平成30年)06月18日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリエチレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100℃以下

以上

依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No. 550本体 アイボリー

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木四丁目5番1号



2019年(平成31年)02月13日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)	1
一般規格
材質試験
カドミウム及び鉛
カドミウム	適
鉛	適
溶出試験
重金属	適
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)
個別規格(ポリプロピレン)
溶出試験
蒸発残留物(ヘプタン)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)
蒸発残留物(4%酢酸)	適(7 µg/ml)

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100℃以下

以上

分析試験成績書

第108013040-005号
2008年(平成20年)02月07日

依頼者 株式会社 フルプラ

検体名 No.550-B7)ﾌﾟﾗﾝ

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番
 彩都研究所 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目4番41号

2008年(平成20年)01月22日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	方法
器具及び容器包装規格試験(合成樹脂)			1	
一般規格				
材質試験				
カドミウム及び鉛	適			
カドミウム	適			
鉛	適			
溶出試験				
重金属	適			
過マンガン酸カリウム消費量	適(0.5 µg/ml以下)			
個別規格(ポリフェン)				
溶出試験				
蒸発残留物(ヘプタン)	適(9 µg/ml)			
蒸発残留物(20%エタノール)	適(5 µg/ml以下)			
蒸発残留物(水)	適(5 µg/ml以下)			
蒸発残留物(4%酢酸)	適(5 µg/ml以下)			

注1. 食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第3のDの2合成樹脂製の器具又は容器包装。区分:使用温度, 100℃以下

以上